

「女性の学習の歩み」 研究セミナー

生きた！

2007 年度
実践・研究レポート
受賞作決定！！

学んだ！

書いた！

受賞レポートを基に、女性の学習や活動を検証する視点や方法、足跡を記すことの意味を、受賞者・選考委員とともに考え合ひましょう。

2008 年 2 月 19 日 (火)

午後1時30分~4時30分

日本女子会館 5 階講義室

参加費：2,000 円(資料代:今年度受賞レポート冊子配付)

参加者：20 人(先着順)

お申込み：住所・氏名・年代・所属・電話番号
を明記の上、郵便、FAX、メールで
下記までお申込みください。
折り返し、参加証をお送りします。

入選：大津 典子 さん〔富山県〕

「女性センターを考える会」の活動と私の歩み
~10年以上・120号を超える会報「ニュースレター」を通して~

「ニュースレター」を出すという活動を通して、事実や方向を見定めようとして来られたこと、そこに解放の力が蓄えられていることがレポートから読みとれます。女性問題解決の方向、行政と市民の関係のあり方を考え続けています。客観的にとらえるその総括の姿勢は学ぶべきものがあると思いました。このレポートを通して、日本女性の主権者としての成熟を見る思いがしました。(選考委員講評より)

佳作：後藤 茂子 さん〔東京都〕

『家』を出る

仕事と学習と家事の三役をこなしながら、学ぶことが楽しくて苦にならないと言えるのは、それが内発的欲求に突き動かされたものだったからでしょう。このレポートは真の意味で自立とは何かを考えさせると同時に、人間は何歳になっても成長していけることを伝えていて、読む人に勇気を与えてくれます。(選考委員講評より)

プログラム概要

◇Ⅰ部 授賞式

研究奨励金授与

受賞レポートの報告

入選 大津 典子 さん

佳作 後藤 茂子 さん

選考委員による講評

村田 晶子（早稲田大学文学学術院教授）※委員長

奥田 暁子（女性史研究者、大妻女子大学非常勤講師）

廣瀬 隆人（宇都宮大学生涯学習教育研究センター教授）



◇Ⅱ部 グループディスカッション

受賞作を基に、女性の教育・学習の足跡を検証する視点や方法、足跡を記すことの意味について考え合う。

交通案内

- JR浜松町駅北口・徒歩8分
- 都営浅草線・大江戸線大門A3出口・徒歩5分
- 都営三田線芝公園A3出口・徒歩3分

※FAXでのお申込みはこちらをご利用ください。

FAX 送信先：03-3434-8082

財団法人 日本女性学習財団 宛

2007年度「女性の学習の歩み」実践・研究レポート選考報告会

「女性の学習の歩み」研究セミナー

参加申込書

ふりがな		電 話	
氏 名		年 代	
住 所	〒 ー		
所 属 等			